

横浜市立二つ橋高等特別支援学校の実践

1. 学校の概要

本校は横浜市の北部に位置し、横浜市立高等養護学校の分教室から平成19年4月に独立開校しました。軽度の知的障害者を対象とした特別支援学校で、「環境・園芸」、「流通サービス」、「情報文化」、「人間福祉」の職業教科に重点をおいた職業自立を図る教育実践を進めています。定員は1学級8名、1学年（6学級）48名、3学年で125名です。本校は社会に貢献できる職業人、自立できる社会人を育てることを目標に学びながら自己実現に向かって努力できるよう支援・指導にあたっています。

2. 職業 「環境・園芸」について

①目標

「働く」ことの意義について理解し、職業生活に必要な基礎的な知識と技術、社会参加への意欲を高め、実践的な態度を育てることを目標に設定された職業科目の1つです。「環境・園芸」は環境整備や農業・園芸活動に関する基礎的な知識と技術の習得を図り、働くために必要な能力、体力、実践的な態度を育てることを目標にしています。

②作業

「環境・園芸」では環境の整備と園芸の2つの作業が行なわれています。

・環境の整備：グラウンドの芝管理（手入れ、クローバー抜き）、プール清掃、池整備、温室整備、側溝清掃などを通し清掃手順や道具類の扱い、ごみの分別などを学んでいます。

・園芸：花の栽培と野菜の栽培を行なっています。育てたポット苗（花）と収穫した野菜は校内と地域で販売を行なっています。

→花の栽培では、播種・水遣り・土作り・移植・追肥・雑草や苔の除草。観葉植物の栽培（こけ玉）。堆肥作り。挿し木。

→野菜の栽培では、耕作・堆肥作り・播種・定植・除草・施肥・水遣り・収穫。

夏野菜：きゅうり、ゴーヤ、トマト、ミニトマト、ナス、とうもろこし、枝豆、ピーマン、ししとう

冬野菜：白菜、ブロッコリー、大根、水菜、小松菜、ほうれん草

3. 敷地

校内

○大温室（1ヶ所）

○花壇（12ヶ所） 3, 8㎡×12

○畑（2ヶ所） 40, 5㎡、47, 0㎡

校外

○圃場（1ヶ所） 1, 058㎡

4. 「環境・園芸」4つの実践

・・・開校2年目の学校ですが、学校の規模と施設に合わせた活動実践を続けています。とりわけ以下の4点については二つ橋高等特別支援学校の職業「環境・園芸」の授業の特色と言えます。

- ①エコ活動として堆肥作りのリサイクル
- ②地域（学区内・瀬谷区・横浜市）と連携した花いっぱいの活動
- ③種から花を育てる試み
- ④地域への販売活動

①エコ活動として堆肥作りのリサイクル

・本校では、除草後の草の処理を有益にするため、雑草を原料にした堆肥作りを行なっています。学校内の雑草・枯葉・枝木を使い校内と外の圃場において2ヶ所堆肥場所を設けています。

・雑草も堆肥としてリサイクルし、花、野菜の肥料に使用しています。

【校内堆肥場】



平成19年9月～ 除草・未熟堆肥



平成20年4月 完熟・中熟堆肥完成

【圃場堆肥場】



平成20年1月～



除草・未熟堆肥



平成20年8月～



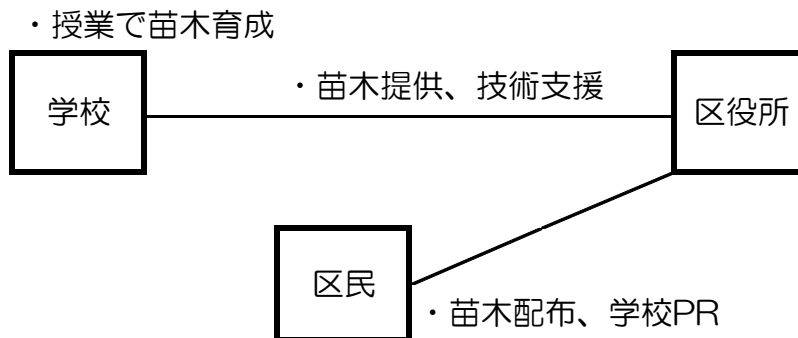
中熟・完熟堆肥完成

②地域（学区内・瀬谷区・横浜市）と連携した花いっぱいの活動

『緑工房プロジェクト』

1. 趣旨

横浜市では平成21年度までに、市民・企業・団体との協働で、市内に150万本の木を植えることを目標とした『150万本植樹行動』の取り組みを進めています。本校は瀬谷区役所と連携し、授業の一環として生徒が苗木を育てることで、職業訓練に役立てるとともに、緑の大切さを学ぶことを目的にしています。育てた苗木は、区のイベント等で区民に配布し、区内の緑化に協力します。また、苗木を配布することにより、学校での育苗などを紹介し、開校2年目の本校及び特別支援学校についてPRするとともに、障害に対する区民の理解を進め、緑を通じて地域との交流を深めていきたいと考えています。



2. 活動経過

① 10月19日（日） 瀬谷フェスティバル 10時～15時

・配布場所：上瀬谷通信施設（基地内）

◎ 出荷苗

ア ポット苗（ローズマリー、ブルーベリー）、アジサイ（挿し木）

イ 出荷個数：ローズマリー…212本

ブルーベリー…185本

アジサイ …139本



ローズマリー挿し木

◎ 出荷方法：当日の早朝、学校からトラックで運搬

◎ PR方法：配布場所に150万本植樹行動PRパネルを展示

② 次回 12月13日（土）

◎ 配布場所：新都市プラザ（そごう横浜店地下2階正面入口前）

◎ ローズマリー（挿し木）

③担当者

横浜市瀬谷区総務部区政推進課 まちづくり調整担当

横浜市瀬谷区総務部区政推進課企画調整係

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

～みんなで取り組む150万本植樹行動～

平成19年1月5日
記者発表資料
環境創造局環境政策課
緑化推進担当課長
水谷 誠 TEL671-2811

150万本植樹行動を宣言します!

横浜市の緑は、都市化の進展により年々減少しています。緑は、市民にやすらぎを与え、地球温暖化対策にも資する次代に継承すべき市民共有の財産です。

これまで、G30で発揮された市民の行動力を緑の創造につなげ、緑豊かな横浜を実現させるため、150万本の植樹行動を行うことを宣言します。

これは、開港150周年である平成21年度までに、150万本の木を植樹することを目標として、市民・事業者・行政が協働して行っていく取組です。

【宣言文】

150万本植樹行動宣言

暮らしに緑を、街に緑を、緑豊かな環境を次世代へ

150万本植樹行動をとおして

361万市民が

緑豊かな横浜をつくります。



平成19年1月5日

横浜市長

中田 宏

【今後の取組】

① 公共施設における緑化を拡充

公共建築物や、公園、道路などの緑化、樹木による花の名所づくりなど、公共施設における緑化を拡充してまいります。



② 植樹行動の普及・啓発

4月のスプリングフェアや6月の環境月間、10月の都市緑化月間などで150万本植樹行動の普及・啓発を進めていきます。また、地域や緑化団体等と協働し、150万本植樹行動を盛り上げていく取組を進めていきます。

③ 苗木配布事業の拡大

これまでも行ってきた、小学校入学時や結婚・出生など人生の節目における人生記念樹などの苗木の配布を拡大し、民有地における緑化推進を市民参加で進めていきます。

④ ドングリからの苗木づくり

ドングリからの苗木づくりを、引き続き市民と協働しておこない、開港150周年の森づくりを進めていきます。



●25万本のドングリが採りました

⑤ 「世界に10億本の木」へのエントリー

ワンガリー・マータイ前ケニア環境副大臣提唱の「世界に10億本の木」キャンペーンへのエントリーし、環境行動都市横浜の新たな取組を広く発信していきます。

⑥ 推進本部を立ち上げ

150万本推進本部を立ち上げるとともに、市民、企業、緑化団体などと連携し、全市を挙げた取組として進めていきます。

取組の第1弾！

本日より登録開始
(21年度まで)

150万本植樹行動サイトに、市民・企業・団体の行動を登録開始します！

150万本の植樹を達成していくため、あなたが木を植えたなら教えてください。
市民の皆さんが行った、庭やベランダ等における植樹の登録を開始します。

150万本植樹の取組にご協力いただける企業・団体を募ります。

地域での取組をさらに推進していくために、取組の趣旨に賛同し、150万本植樹のPRや苗木の配布などにご協力いただける企業・団体の登録を開始します。また、木を植えた場合の情報もあわせて登録できます。

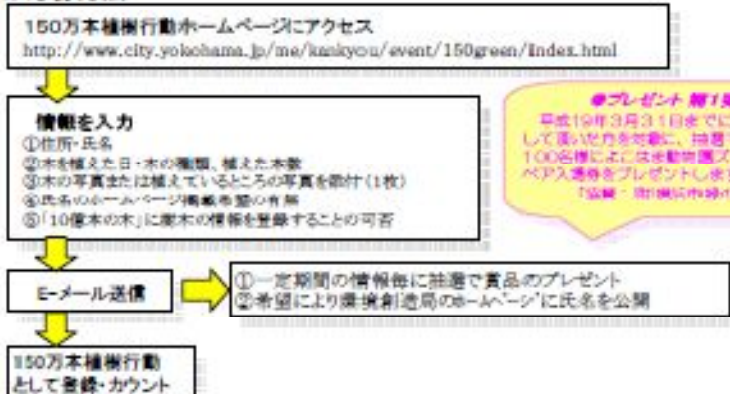
登録された、市民・企業・団体は、希望により、150万本植樹行動参加市民、企業団体として氏名・会社名をホームページに公開させていただきます。

①市民の植樹行動の登録

(1) 応募条件

- ・横浜市内在住・在勤の方
- ・横浜市内における植樹であること（樹木の大きさ、種類は、問いません）

(2) 応募方法

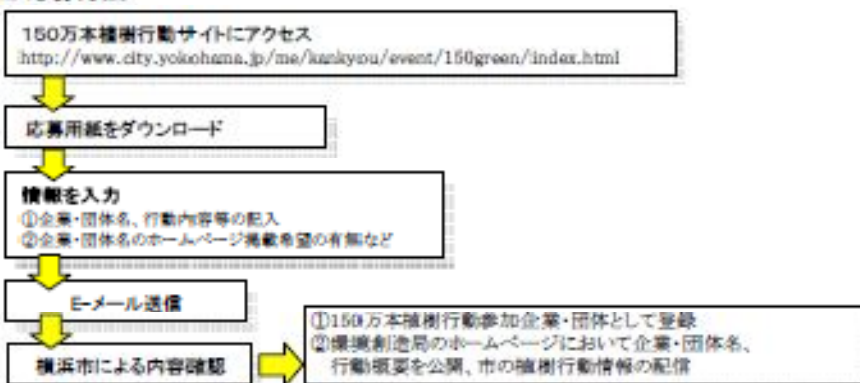


②協力企業・団体の登録

(1) 応募条件

- ・横浜市内に事業所を持つ企業・団体、及び市内で活動している団体
- ・150万本植樹行動の趣旨に賛同していただき、この取組を支援（PRや苗木の配布など）や植樹を自主的に行っていただける、企業・団体

(2) 応募方法



開港150周年までにチャレンジ！150万本植樹行動“木は大切な財産です”

横浜市の緑は減り続けています。昭和50年に市域の約45%を占めていた緑は、平成16年には31%になり、瀬谷区でも減少傾向にあります(昭和50年45.8%→平成16年35.9%)。

そこで、横浜市では、今ある緑地を保全する一方で、新しい緑をつくるために、横浜開港150周年にあたる平成21年までに、市民の皆さんや企業・団体と協働して、市内に150万本の木を植える「150万本植樹行動」に取り組んでいます。

育苗モデル事業

ボランティア団体が苗木や花苗を育て、地域に育苗のノウハウを広めるとともに、公園花壇や瀬谷駅北口駅前広場の「花いっぱい野外ギャラリー」などに植え込み、区内に花と緑の輪を広げています。

緑工房プロジェクト

二つ橋高等特別支援学校で、授業の一環として生徒が苗木を育てています。育てた苗木は区のイベントなどで配布し、区内に緑の輪を広げます。



ご家庭でも苗木を育ててみませんか！

生徒が育てたローズマリーとブルーベリーの苗木を、瀬谷フェスティバルで配布します。みなさんのご来場をお待ちしています。

日時

10月19日(日)10時～15時(荒天中止)

場所

上瀬谷通信施設のはらっぱ

* 先着順

【問合せ】

区役所企画調整係

「緑工房プロジェクト」について

1. 購入物品（案）

（1）樹木

- ・アジサイ（挿し木用の親木）

案1 区内の公園の植栽を利用

案2 購入→種類：ハイドラングア、個数：20株程度、大きさ：30～40cm程度、購入時期：5月下旬～6月上旬、※置いておくスペースが必要。

- ・ローズマリー（挿し木用の親木、ポット苗）

挿し木用の親木→案1 大きく育ったものから分けてもらう。

案2 購入→個数：40本程度、大きさ：20cm程度、購入時期：5月下旬～6月上旬、※置いておくスペースが必要。

ポット苗→個数：300ポット、大きさ：9cmポット、購入時期：4月下旬～5月上旬、※外に置いて管理するスペースが必要。

- ・ブルーベリー（ポット苗）

種類：ラビットアイ系、個数：200ポット、大きさ：9cmポット、購入時期：4月下旬～5月上旬、※校内で鉢ごと植えて管理するスペースがあるとよい。

（2）消耗品等

- ・ビニールポット

挿し木用→12cmポット：100個、9cmポット：500個、購入時期：4月中旬

- ・土（挿し木用）

量：園芸業者の判断、購入時期：5月下旬～6月上旬（挿し木用）、8月下旬（鉢分け用）

- ・肥料

量：樹木数、土の量に対して必要分（園芸業者の判断）、購入時期：4月中旬

- ・カッターナイフ

個数：50本、購入時期：4月中旬、※挿し穂を作る用

- ・割り箸

個数：1袋、購入時期：4月中旬、※挿す穴を開ける用

- ・育苗箱

個数：500個（20穴）、購入時期：4月中旬

（3）資料

- ・育て方の本など（子供達がわかりやすいように、絵・写真が多いもの）

→中央図書館から借りる、時期：5～6月（1ヶ月間）

2. スケジュール (予定)

20年	2	3	4	5	6	7	8	9
<区役所> 物品購入	○学校 打合せ	○業者 見積り	○発注 ○納品 ・ポット ・肥料 ・ナイフ ・割り箸 ・育苗箱 ・資料	○納品 (ポット 苗) ・ローズ マリー ・ブルー ベリー	○納品 (挿し木) ・アジ サイ ・ローズ マリー ・土			○納品 ・土
<学校 (授業)> 挿し木 ・アジサイ ・ローズマリー ポット苗 ・ローズマリー ・ブルーベリー <講師> 講師派遣				○練習 育成開始 (5月)	育成開始 (6月)			○鉢分け
<区・学校> 配布イベント			○講師派遣	○講師派遣	○講師派遣	○講師派遣	○講師派遣	

20年	10	11	12	21年	1	2	3
<区役所> 物品購入							
<学校 (授業)> 挿し木 ・アジサイ ・ローズマリー ポット苗 ・ローズマリー ・ブルーベリー <講師> 講師派遣							
<区・学校> 配布イベント	○瀬谷フェスティバル ・150万本植樹行動PR ・学校PR			○講師派遣		○花いっぱいの 野外ギャラリー ・150万本PR ・学校PR	

担当：区政
推進課企画
調整係

20年度第5回「緑工房プロジェクト」：授業3回目

日 時：平成20年9月8日（月）12時30分～14時30分

場 所：二つ橋高等特別支援学校 温室

出席者：グリーンアドバイザー 吉澤さん

二つ橋高等特別支援学校 生徒14名

瀬谷区役所区政推進課



あじさい挿し木授業中

1 第3回授業

(1) アジサイ（挿し木）の鉢あげ

・9cmポットに1本ずつ植替え：計139本

(2) アジサイ（挿し木）の育成管理指導

・ポットは温室西側の木陰に移動

・水やり、肥料（液肥）等の管理のポイントを説明

・10/19（日）の瀬谷フェスティバルに出荷予定



あじさい（挿し木）

2 打合せ

(1) 育成管理

・ブルーベリー（ポット苗）：（授業の中でできれば）雑草および枯れ枝を取る。

・ローズマリー（挿し木）：窒素系の肥料を与える。12月出荷予定。

(2) 出荷計画

ア ポット苗（ローズマリー、ブルーベリー）、アジサイ（挿し木）

・出荷時期：10月19日（日）瀬谷フェスティバル 10時～15時

・配布場所：上瀬谷の原っぱ

・出荷個数：ローズマリー…212本

ブルーベリー…185本

アジサイ …139本

・出荷方法：当日の早朝、学校からトラックで運搬

※前々日までに区役所が門の鍵を借りる。

・PR方法：配布場所にパネルを展示

→150万本植樹行動PRパネル：区役所が作成

→学校での取組紹介パネル：学校が原稿・写真を準備（9月末まで）、区役所が加工して作成

イ ローズマリー（挿し木）

・出荷時期：12月13日（土）



ブルーベリー（ポット）



ローズマリー（ポット）



ローズマリー（挿し木）

・配布場所：新都市プラザ（そごう横浜店地下2階正面入口前）

③種から花を育てる試み

（1）ピートバンからの育苗

*本校ではピートバンに播種し育苗する花の栽培を行なっています。プラグ苗から（業者から注文）の世話よりも手間がかかりますが、花の育苗・世話の難しさを学習するよい経験とさせています。種から育て自家製の堆肥を元肥に使って育てた made in 二ツ橋 の花が地域の環境づくりの一環になればと考えています。

*移植時の培養土の元肥は、学校内で作った自家製の堆肥を使用

（2）2年間の育苗

	ポット数	花の種類
平成19年 春	500	インパチェンス
平成19年 冬	900	パンジー、ビオラ、シナウスレナグサ、ポピー、アリッサム
	その他	アイビー（挿し木） こけ玉
平成20年 春	500	千日紅、ポンポン百日草、アスター、コリウス
	その他	挿し木：ローズマリー、ブルーベリー、あじさい マリーゴールド
冬	750	パンジー、ビオラ

*学年にもよりますが、発芽→ポット定植→販売までいくものは、播種時の40%弱という状況です。今後は専門的な技術・知識を向上しながら取り組みを深めていきたいと思っています。



ピートバンに播種中（ビオラ）



パンジー・ビオラ・アリッサム・ワスレグサ・ポピー
900ポット



玄関前 アスター・百日草・千日紅



ローズマリー挿し木



グランド脇通路 アスター・百日草・千日紅



こけ玉作成中



こけ玉完成



玄関前 アスター・コリウスの寄せ植え
プランター



玄関前 コリウスプランター



卒業アルバム写真用にを華やかにするパンジー



園芸花壇 マリーゴールド・千日紅・百日草

④地域への販売活動

(1)趣旨：環境・園芸では播種、栽培管理、収穫、販売までを通して学びたいと考えています。販売については流通サービスの授業とタイアップして計画的に取り組んでいます。販売については校内販売と地域販売の2種類を行なっています。

(2) 販売

〈1〉 校内販売

- 注文販売・・・校内生徒を対象に野菜、花の苗を注文販売しています。
- 無人販売・・・行事や学校見学会に合わせて学校訪問者向けに販売を行なっています。

〈2〉 校外販売

○無人販売・・・学校周辺地域に販売スペースを設けています。移動販売リヤカー(名称：FKなな色号)にて販売を行なっています。

- ・瀬谷区 区民交流サロン セやまるハウス内に販売スペースを設置。
- ・シャローム保育園付近(平成20年冬より予定)



校内販売の様子



移動販売リヤカーでこれから販売「FKなな色号」

花の苗販売パート1

平成20年2月22日（金）

環境園芸担当

昨年10月から3年生が花の苗を育ててきました。種からの栽培でとても丁寧に大事に育てた結果**900ポット**近くの苗を育てました。大部分は校内のプランターや鉢植えに移植し、卒業に花を飾るものとなりそうです。今回は注文販売です。元気な苗ですのでぜひ購入下さい。

～申し込み方法～

1. 申し込み

- ・申し込み用紙に記入→担任に提出

×切 〇月〇日

2. 調整

3. 確認

4. 購入

- ・封筒に代金を入れて**生徒が購入**。
- ・代金を入れた封筒は**当日**持って来て下さい。

販売日 〇月〇日

5. 販売できる花の苗（数）

・**パンジー**

・**アリッサム**

・**シナワスレナグサ**

・・・・・・・・・・・・・・・・・・きりとり・・・・・・・・・・・・・・・・



花の苗販売の申し込み

年 組 氏名

*希望する花のポット数を記入して下さい。

(太枠の申し込み個数のみを記入して下さい。)

花の苗	金額	申し込み個数	購入できる個数	
パンジー	40円	ポット	ポット	
アリッサム	40円	ポット	ポット	
シナワスレナグサ	40円	ポット	ポット	
販売 二つ橋プランテーション		代金	円	月 日() 領収しました

野菜・花の苗の無人販売

☆隣の二つ橋高等特別支援学校の生徒が環境・園芸の授業で育てた野菜と花の苗を販売させていただくことになりました。

○販売場所：せやまるハウス入口

○販売時期：6月～3月、10：00～2：30

○販売する商品：野菜・花の苗



環境・園芸の授業風景

校内の販売風景



収穫風景



地域の圃場で作業

5. 今後の活動

◎校内についての活動

・堆肥作り：学校で使う堆肥にとどまらず、今後試行錯誤を行い、販売できる品質までを目指しています。

・花の栽培：出荷数を増せるよう年間計画をたて、学校・地域に花木を増やし環境づくりに協力していきたいと思えます。また観葉植物の挿し木にも作業を広げようと考えています。インテリアプランツ、こけ玉、ハイドロカルチャーを予定。

◎校外についての活動

・連携事業：平成19年から瀬谷区と連携している緑工房プロジェクトについては来年度も引き続き行なうことになっています。

・地域：地域の小中学校の定植活動（卒業式・入学式に向けて）、駅周辺の緑化（手入れされていないプランターに季節の花を定植）などを考えています。